

ぽかぽか心地いい季節！子どもの感性を磨く春のおでかけ

子育て・しつけ 2019/03/26 □ 子どもも親も幸せになる「ほめ育」のすすめ

ツイート

いいね! 0

友だちに教える



子どもも親も幸せになる 「ほめ育」のすすめ



今回のテーマは「子どもの感性を磨く春のおでかけ」です。

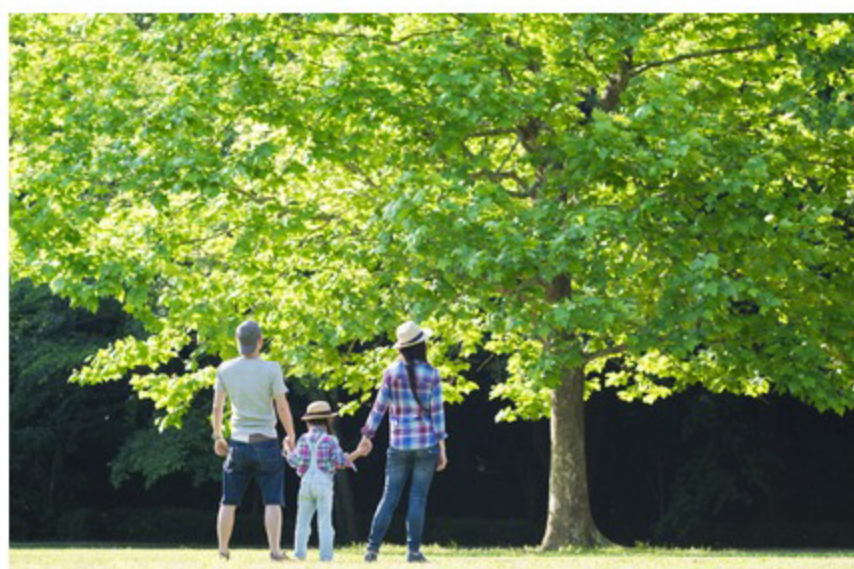
春の陽気に包まれ、おでかけが気持ちいい季節になりました。子どもには、できる限りいろいろな経験をさせてあげたいと思うのが親心。どんな経験をすれば、子どもの可能性が広がるのか、春休みはどこへ行こうかと、考えているパパ・ママも多いのでは？今回は親子で楽しめる「春のおでかけ」の提案です。



自然は発見の宝庫！環境が子どもを育ててくれます

春休み、そして今年は10連休のGWもあり、おでかけのチャンスがいっぱいです。山や川、海など、自然は新しい発見の宝庫です。実際に見たり触れたりして感動することは、とても大事な経験です。虫を見つけたり、土いじりをしたり、花や草木を愛でたりと、子どもの伸びしろを育てる体験をさせてあげてください。

親子で自然に触れることで、日常生活を送っているときは話題も変わります。「木や草のにおいがして気持ちいいね」「この虫、何ていう名前かな」「あとで調べてみようね」そんな会話が自然と生まれます。すると新たな好奇心が芽生え、子どもの成長の種が植わるのです。



「環境が人を育てる」という言葉があります。親がすべてを教えるのではなく、ときには環境に“育てる”ことを委ねてみましょう。子育てをしながら、実は自分自身も育ててもらっている…そんなことに感謝できる時間になるはずですよ。



大事な声かけは、「どんな音が聞こえるかな？」

では、子どもの感性を磨くためには、自然の中でどんな問いかけを心がけるといいのでしょうか？おすすめしたいのは、「どんな音が聞こえるかな？」という質問です。

自然界にはいろいろな音が存在し、混ざり合っています。小鳥のさえずり、風の音、川のせせらぎ…。どんな音が聞こえるか、子どもに聞いてみましょう。

身のまわりの音を聞き取ろうとする過程で、子どもは心地よさや面白さ、不思議さを十分に味わうはずですよ。目を見開いたり、いつもよりうなずいたり、集中したり…。感じて動く、子どもの小さな変化を観察してみてください。うれしそうに、どんな音が聞こえるか教えてくれたら、「たくさんの音が聞こえてすごいね！」「そうそう、その調子！」と、ほめ言葉をかけてあげましょう。

日常生活だと、親子という近い関係だからこそ、お互いに当たり前になったり、聞く耳をもてなかったりすることもあります。だからこそ、“自然の声”に力を借りましょう。コミュニケーションを円滑にする手段として「ボイスチェンジ」という考え方があるように、伝える声や場を変えることにより、親子の感情が安定して、会話に広がりが出ることも多いのです。

子育ては長丁場。心身ともに健康でのり切るためにも、この季節は、自然と触れ合ってみてください。きっと、新たな子どものよい面が見られ、成長を実感するはずですよ。



今日からできる！ほめ育ワンポイントアドバイス

春は入園や入学、進級などがあり、今までにない変化や、成長が見られる時期です。何かを始めようと思ったら、春が一番いいですね！どんどん自然の中でかけましょう。そして成長を見逃さず“ほめ言葉”にして“瞬間冷凍”してあげてください。やがて大人になり自然を感じるたびに、親からの愛情がよみがえってきますよ！

PROFILE



原 邦雄 (はら・くにお)

株式会社スパイラルアップ・一般財団法人ほめ育財団代表

世界10ヶ国に広がる“ほめ育【Ho-Me-I-Ku】”を世界共通語に！

世界中の人たちを輝かせる！をミッションに掲げ、子どもの教育にチャリティーをすることを目的に、「一般財団法人 ほめ育財団」を設立。

大手コンサルタント会社で活躍後、飲食店の洗い場で4年間住み込み修行。多数の現場で培った経験と、脳科学・心理学をミックスした教育メソッドは、大人だけではなく幼児教育にも活用できるとして、国内外200社に導入され、のべ100万人以上の成長に繋がる。ハーバード大学やザ・リッツ・カールトンホテルでのセミナーをはじめ、年間200回以上の講演を行う。著書は5冊。テレビ朝日「報道ステーション」やNHK、TV東京の池上彰氏特番にも登場。